

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
関係法規・制度 I		美容学科/2年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	7回	0単位(14時間)	必須	
授業の概要				
日本の法制度の簡単な仕組みを理解するとともに行政施策と国民への役割を法との関係で考える。美容師としての法的位置づけと遵守すべき法令を理解する。				
授業終了時の到達目標				
美容師として営業活動を行うについて派生する権利義務を法から見た考え方を理解する。美容師法中心とした法体系を理解し試験科目としての知識を得る。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		村上 正志 : 司法書士として42年の実務経験 これまでの経験や知識を活かし美容師法を中心に法規を理解させる。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	法制度の概要	社会生活における法の役割		
2	法制度の概要	日本国憲法下の法整備		
3	法制度の概要	衛生法規の概要		
4	衛生行政の概要	法と行政		
5	美容師法	美容師法の目的と歴史		
6	美容師法	美容師法の体系		
7	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益社団法人 日本理容美容教育センター 関係法規・制度 過去問確認テスト		期末試験 確認テスト	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
関係法規・制度Ⅱ		美容学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	0単位(16時間)	必須	
授業の概要				
日本の法制度の簡単な仕組みを理解するとともに行政施策と国民への役割を法との関係で考える。美容師としての法的位置づけと遵守すべき法令を理解する。				
授業終了時の到達目標				
美容師として営業活動を行うについて派生する権利義務を法から見た考え方を理解する。美容師法中心とした法体系を理解し試験科目としての知識を得る。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		村上 正志 : 司法書士として42年の実務経験 これまでの経験や知識を活かし美容師法を中心に法規を理解させる。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	美容師法	美容師法の用語定義		
2	美容師法	美容師試験		
3	美容師法	美容所		
4	美容師法	管理美容師		
5	美容師法	行政の立ち入り検査		
6	美容師法	行政処分		
7	美容師法	罰則		
8	関連法規	衛生関係及び営業の適正化に関する法令 その他関連法令		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益社団法人 日本理容美容教育センター 関係法規・制度 過去問確認テスト		期末試験	100.0%	

作成者:大杉 和人

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
衛生管理Ⅱ		美容学科/2年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位(30時間)	必須	井川 泉
授業の概要				
人体の構造や皮膚科学を学び、美容師としての施術時に必要な知識を修得する。				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有				
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~ 15	国家試験対策	対策問題 過去問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益社団法人日本理容美容教育センター 保健 学科対策問題 国家試験過去問題		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
衛生管理Ⅲ		美容学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位(30時間)	必須	井川 泉
授業の概要				
美容所における施設、設備、器具など衛生的管理及び消毒並びに従業者の健康管理の措置により、美容に関する衛生の向上及び確保を図ることを学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有				
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	消毒法各論	科学的消毒法		
3	消毒法各論	優れた消毒法とその実施上の注意		
4	消毒法実習	各種消毒薬		
5	消毒法実習	理容所美容所の消毒の実際		
6	消毒法実習	理容所美容所の清潔法の実際		
7	衛生管理の実例	理容所美容所における衛生管理要項 自主点検管理		
8~ 15	国家試験対策	ワークブック・過去問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本理容美容教育センター		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保健Ⅱ		美容学科/2年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位(30時間)	必須	福原 里奈
授業の概要				
美容師と健康、公衆衛生との関係を理解する。 皮膚と皮膚付属器官の構造や生理機能を理解する。 皮膚における疾患について理解する。				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験合格レベルの知識習得のために、自分の苦手なところが分析できる。 国家試験合格に向けて後期での課題が明確にできる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		看護師として8年の実務経験あり。		
時間外に必要な学修				
予習・復習				
回	テーマ	内容		
1	皮膚科学	皮膚の構造		
2	皮膚科学	皮膚付属器官の構造		
3	皮膚科学	皮膚の循環器系と神経系		
4	皮膚科学	皮膚と皮膚付属器官の生理機能①		
5	皮膚科学	皮膚と皮膚付属器官の生理機能①		
6	皮膚科学	皮膚と皮膚付属器官の保健①		
7	皮膚科学	皮膚と皮膚付属器官の保健②		
8	皮膚科学	皮膚と皮膚付属器官の保健③		
9	皮膚科学	皮膚と皮膚付属器官の疾患①		
10	皮膚科学	皮膚と皮膚付属器官の疾患②		
11	皮膚科学	皮膚と皮膚付属器官の疾患③		
12	皮膚科学	皮膚と皮膚付属器官の疾患④		
13	皮膚科学	皮膚と皮膚付属器官の疾患⑤		
14	皮膚科学	皮膚と皮膚付属器官の疾患⑥		

回	テ ー マ	内 容		
15	まとめ、期末試験			
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
保健 ター	公益社団法人日本理容美容教育セン	期末試験 課題・レポート 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 5.0% 5.0%	配布資料あり

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保健Ⅲ		美容学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位(30時間)	必須	大杉 和人
授業の概要				
人体の構造や皮膚科学を学び、美容師として施術時に必要な知識を修得する。				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験合格				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1~ 15	国家試験対策	学科対策問題 過去問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益社団法人日本理容美容教育センター 保健 学科対策問題 美容師国家試験過去問題		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
文化論Ⅱ		美容学科/2年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位(30時間)	必須	井川 泉
授業の概要				
世界の文化史 ファッションの造形 礼装				
日本の文化史				
授業終了時の到達目標				
国家試験合格				
実務経験有無				
実務経験内容				
有				
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	礼装の種類	和装の礼装 1花嫁の礼装		
2	礼装の種類	和装の礼装 女性の礼装		
3	礼装の種類	和装の礼装 男性の礼装		
4	礼装の種類	洋装の礼装 男性の礼装		
5	礼装の種類	洋装の礼装 女性の礼装		
6~ 15	国家試験対策	ワークブック及び過去問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本理容美容教育センター文化論		期末試験	100.0%	

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
香粧品化学Ⅱ		美容学科/2年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位(30時間)	必須	大南 朋子
授業の概要				
美容師の業務を行う上で必要な香粧品学の基礎知識について学習する 香粧品化学が美容技術において基盤となることを理解する 過去問を利用し、美容師国家試験対策を行う				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験に対応できる知識を身につける 美容国家試験合格				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	2章 香粧品用原料 <small>2節 水性原料</small>	水性原料である、水、エタノール(エチルアルコール)について		
2~3	2章 香粧品用原料 <small>4節 界面活性剤</small>	界面活性剤の基本的性質、種類、香粧品への応用について		
4~5	2章 香粧品用原料 <small>5節 高分子化合物</small>	高分子化合物の種類と特性、香粧品への応用について		
6~7	2章 香粧品用原料 <small>7節 香料</small>	香料と香粧品、香料の種類、調合香料について		
8~9	2章 香粧品用原料 <small>9節 エイブル、エチルヘキシルステアレート</small>	香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分、香粧品配合 合成樹脂、接着剤、塗料について		
10~11	3章 基礎香粧品 <small>2節 化粧水</small>	化粧水の種類と機能性について		
12	3章 基礎香粧品 <small>4節 その他の基礎香粧品</small>	シェービング用香粧品(理容)、化粧液(美容液、美容エッセンス)、打粉(ベビーパウダー)類、パック剤について		
13~14	4章 メイクアップ用香粧品 <small>2節 ポイントメイクアップ香粧品</small>	ポイントメイクアップ香粧品の紅類、アイメイクアップ香粧品、ネイル技術用香粧品類(マニキュア製品)について		
15	期末試験	期末試験を実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本理容美容教育センター 香粧品化学		出席率 期末試験	30.0% 70.0%	主体的に授業参加し学習する 【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて教科書・

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
香粧品化学Ⅲ		美容学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	0単位(16時間)	必須	大南 朋子
授業の概要				
美容師の業務を行う上で必要な香粧品学の基礎知識について学習する				
香粧品化学が美容技術において基盤となることを理解する				
返す期を利用し、美容師国家試験対策を行う				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験に対応できる知識を身につける				
美容国家試験合格				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	5章 頭皮・毛髪用香粧品 <small>1節 シャンプー剤</small>	ヘアリンス剤、ヘアトリートメント剤について		
3~ 4	5章 頭皮・毛髪用香粧品 <small>2節 パーマ剤</small>	スクイリング剤の機能、油性スクイリング剤、液状スクイリング剤の原理、分類、パーマ剤第1剤、パーマ剤第2剤、パーマ剤の使用上の注意について		
5~ 6	5章 頭皮・毛髪用香粧品 <small>4節 ヘアカラー製品</small>	ヘアカラー製品の種類と染毛メカニズム、一時染毛料、半永久染毛料、脱色剤・脱線剤、永久染毛剤、ヘアカラー製品の使用上の注意、その他のヘアカラー製品について		
7	6章 芳香製品と特殊香粧品 <small>1節 芳香製品</small>	香水、オーデコロン、その他の芳香製品、芳香製品の効用と使用上の注意について		
8	総まとめ	総まとめを実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本理容美容教育センター 香粧品化学		期末試験	100.0%	・主体的に授業参加し学習する。 【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて教科書・

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容技術理論Ⅱ		美容学科/2年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位(30時間)	必須	竹内 志保
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容師として必要な基礎知識を身につける ・美容技術を裏付ける基本的理論を習得する ・美容師国家試験合格を目指し、学習内容を反復演習する 				
授業終了時の到達目標				
・美容師国家試験に合格できる知識習得				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~3	エステティック	エステティック概論、皮膚の生理と構造、カウンセリング美容におけるマッサージ理論、フェイシャルケア技術		
4~5	ネイル技術	ネイル技術概論、ネイル技術の種類、爪の構造と機能爪のカット形状、ネイル技術と公衆衛生、カウンセリング		
6~8	メイクアップ	メイクアップ概論、顔の形態学的な観察、メイクアップと色彩		
9~10	日本髪	皮膚の生理と構造、メイクアップの道具 日本髪の由来・各部の名称・種類と特徴 日本髪と調和、日本髪の装飾品・結髪道具		
11~13	着付けの理論と技術	日本髪の結髪技術、日本髪の手入れ、かつら 着付けの目的、礼装、着物と季節、着物のいろいろ帯、小物、着物各部の名称、着物のたたみ方		
14	期末試験	着付けの一般的要領、留袖、振袖着付け技術		
15	振り返り・まとめ			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・美容技術理論2 ・美容実習2 ・ワークブック ・配布プリント 		期末試験 授業態度	80.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容技術理論Ⅲ		美容学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	16回	0単位(32時間)	必須	大杉 和人
授業の概要				
美容師の業務を行う上で必要な美容技術理論の基礎知識について学習する				
美容理論を理解し、美容技術に活かされることを理解する				
※土曜を利用し、美容師国家試験対策を行う				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験に対応できる知識を身につける				
美容国家試験合格				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1～ 16	国家試験学科対策	学科対策問題 過去問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本教育センター 美容技術理論1、2		期末試験	100.0%	

作成者:大杉 和人

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
運営管理 I		美容学科/2年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	7回	0単位(14時間)	必須	大杉 和人
授業の概要				
美容師として仕事を進めていく上で、接客の役割、心構え、美容業経営戦略・マーケティング、労務管理を理解し身に付ける				
授業終了時の到達目標				
実際の仕事を始めた時に起きる問題に前向きに向き合える意識を習得する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		大杉 和人 : 美容師として3年の実務経験 これまでの経験や知識を活かし美容室の経営や運営を理解させる		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	第1編 経営者の視点	経営とは・経営者とは		
2	第1編 経営者の視点	理容業・美容業の経営について		
3	第1編 経営者の視点	資金の管理		
4	第2編 人という資源 従業員としての視点	人という資源		
5	第2編 人という資源 従業員としての視点	健康・安全な職場環境の実現		
6	第2編 人という資源 従業員としての視点	従業員としての視点から		
7	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容運営管理		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	

作成者:大杉 和人

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
運営管理Ⅱ		美容学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	0単位(16時間)	必須	大杉 和人
授業の概要				
美容師として仕事を進めていく上で、接客の役割、心構え、美容業経営戦略・マーケティング、労務管理を理解し身に付ける				
授業終了時の到達目標				
実際の仕事を始めた時に起きる問題に前向きに向き合える意識を習得する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		大杉 和人 : 美容師として3年の実務経験 これまでの経験や知識を活かし美容室の経営や運営を理解させる		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~7	国家試験対策	国家試験対策		
8	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容運営管理		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習Ⅱ		美容学科/2年	2022/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	113回	0単位(226時間)	必須	大杉 和人
授業の概要				
<p>ワインディングオールパーパスの技術を基に、国家試験課題のワインディング技術(デザイン巻き)を学び、 国家試験に合格する実力を身につける オールウェーブのタイムを縮めるとともに完成度を上げる 国家試験課題のオールウェーブをブロックで仕上げる技術を習得する</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>国家試験合格 校内、校外コンテストに入賞できる実力ををつける</p>				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~5	ワインディング デザイン巻き	ブロッキング		
6~10	ワインディング デザイン巻き	オンベース		
11~15	ワインディング デザイン巻き	1/2オフベース		
16~50	ワインディング デザイン巻き	全頭20分		
51~54	カット	シザーズの使い方 手入れ方法		
55~60	カット	ブロッキング		
61~65	カット	ガイドのカット		
66~70	カット	ワンレングスカット		
71~75	カット	グラデーションカット		
76~80	カット	レイヤーカット		
81~113	カット	国家試験課題を20分で仕上げる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益財団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 美容実習		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習Ⅲ		美容学科/2年	2022/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	151回	0単位(302時間)	必須	大杉 和人
授業の概要				
<p>ワインディングオールパーパスの技術を基に、国家試験課題のワインディング技術(デザイン巻き)を学び、国家試験に合格する実力を身につける オールウェーブのタイムを縮めるとともに完成度を上げる 国家試験課題のカットングをブロッキングから仕上げまで習得する</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>国家試験合格 校内、校外コンテストに入賞できる実力ををつける</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~10	ウェーブ ピンカール	スカルプチェアカール		
11~15	ウェーブ ピンカール	リフトカール		
16~20	ウェーブ ピンカール	メイポールカール		
21~25	ウェーブ ピンカール	クロッキノールカール		
26~50	オールウェーブ	国家試験課題25分で仕上げる		
51~100	国家試験課題	第一課題 第二課題		
101~151	衛生上の注意事項	準備時間中の注意事項 作業時間中の注意事項		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益財団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 美容実習		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サロンワーク		美容学科/2年	2022/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	56回	0単位(112時間)	必須	大杉 和人
授業の概要				
・美容師の業務を行う上で必要な基礎知識や技術について学習する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容の業務に必要な基礎知識の習得 ・美容師国家試験合格 				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1～ 20	国家試験対策	国家試験対策問題		
21～ 40	国家試験対策	模擬問題		
41～ 56	国家試験対策	過去問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・日本理容師美容師教育センター教科書 ・国家試験対策問題 ・ワークブック ・過去問題 				

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎Ⅱ		美容学科/2年	2022/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	0単位(16時間)	必須	大杉 和人
授業の概要				
就職活動を控え、これから、社会人になるにあたって、必要なスキルを身につける 3KAN教育の後半として、就職活動を通して社会人に必要なスキルを身につける				
授業終了時の到達目標				
1. 3KAN教育(1. 自己効力感 2. 成長実感 3. 学び続ける習慣)により企業が求める人材を育成する 2. 基礎学力、専門知識を将来社会において発揮することができるための汎用的能力の育成 3. 目標を設定し管理することによって、自己成長を実感させ、将来設計ができるようになる				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	企業訪問/就職試験について/ 企業が欲しい人材/自己分析	企業が求める人材の理解と自分を理解する ほううれんそう PDCA		
2	模擬面接①	グループに分かれて教室にて模擬面接を実施する		
3	模擬面接②	グループに分かれて教室にて模擬面接を実施する		
4	グループディスカッション・ワーク	NASAゲーム、ノベルティ決めを用いてディスカッションを体験する。 本ゼミ資料のディスカッションを用いて就職研修のディス		
5	就職や社会におけるSNSの活用 ・SNSを就職活動に役立てる方法と 注意点について理解する	(前半) 1. SNSとはどのようなものか 2. SNSを利用した就職活動の方法例		
6	新聞を通して、情報の入手の仕方 や、新聞の読み方を学ぶ	①仕事に必要な基礎能力とは ②基礎能力向上に新聞がなぜ役立つのか		
7	社会に出た際に必要となる知識を学 び理解する(働くことの基礎知識～ 労働・給与・税金～)	給与計算の基礎知識 ・給与に関する法律		
8	社会人と学生の違いを理解する	社会人になるということ 学生と社会人の違い		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
授業担当者によるレジュメ		出席率	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
就職実務		美容学科/2年	2022/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位(30時間)	必須	
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・就職についての考え方を改める(なぜ就職する必要があるのか) ・自分なりの考察をもとに、「自分のスタイル」を見つける ・書類の書き方も理解する 				
授業終了時の到達目標				
・就職を「自分」の人生の進路活動のチェックポイントとし、自分の進路の道筋を考える準備が終了する				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	就職について	なぜ就職する必要があるのか、について		
2	履歴書	履歴書の書き方1		
3~4	自己分析1・2	過去		
5~6	自己分析3・4	現在、未来		
7~9	自己PR文作成	自己PR文の作成		
10~12	企業研究	企業をピックアップし、その企業の特徴から志望動機を作成する		
13~14	履歴書用文書の作成	自己PR、志望動機の履歴書版を作成する		
15	志望動機の作成	履歴書の清書作業を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルの教材を使用 ・課題によっては参考資料として(記事抜粋)書籍や新聞なども使用 		出席率	100.0%	【準備学習】 授業開始前に前回の内容確認をおこなうこと

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネイル I		美容学科/2年	2022/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位(30時間)	選択	
授業の概要				
授業終了時の到達目標				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	ジェルとは(理論)	教材説明 ジェルの成分、硬化の仕組みなど		
2	ジェルの塗り方と注意点 デモンストレーション	ジェル塗布前のケア(ドライケア)の仕方 ジェル塗布の仕方 ジェルのオフの仕方		
3	ジェル実習	自分の手でのケア・ジェル塗布・ジェルオフまで		
4	ジェルを使ったアート	ピーコックのデモンストレーション・実習		
5~ 7	ジェル・ピーコックの実習	ハンドを使ってのジェル・ピーコック実習 タイムトライアル		
8~ 13	ジェル・ピーコック・カラーポリッシュの実習	ハンドでのジェル塗布、ジェルアート、カラーポリッシュ (タイムトライアル) ジェルネイル技能検定試験両項の説明		
14~ 15	ジェルネイル技能検定試験模擬テスト	ハンドでのネイリスト技能検定試験模擬テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度 確認テスト 期末試験	10.0% 30.0% 30.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダル I		美容学科/2年	2022/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位(30時間)	選択	
授業の概要				
メイクの提案力・技術力の習得 着付けの基礎知識・技術の習得				
授業終了時の到達目標				
サロンメイクの提案、似合わせ ブライダルメイクの提案、似合わせ(色・デザイン・仕上がリイメージ)確認 着物の知識、浴衣、留袖の着付手順修得				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~ 2	メイク技術	サロンメイク サロンメイクの提案・似合わせ		
3~ 5	メイク技術	ブライダルメイク 色・デザインを確認してからの似合わせ提案		
6~ 11	着付け	着物知識・たたみ方		
12~ 13	着付け	浴衣着付け 帯結び		
14~ 15	着付け	留袖着付け		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価 期末試験	10.0% 20.0% 20.0% 20.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
エステⅠ		美容学科/2年	2022/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位(30時間)	選択	
授業の概要				
応用フェイシャル、ボディの技術を通し、お客様への心配り、技術者の体を守るためのケアを学び、「内面からの美」を提供できる人材を育成する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・お客様への心配りを第一に考えた接客ができるようになる。 ・自分自身のケアを積極的に行い、日ごろからメンテナンスする意識をもつ。 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	DAYSPAallumer 1年半、エステティシャンとしてフェイシャルからボディのトータルケアを担当。 日本エステティック協会 トータルエステティックアドバイザー			
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> ・自身の肌、ボディの観察 ・授業で学んだケア方法を実践 				
回	テーマ	内容		
1	授業概要説明 コンサルティングとカウンセリング	<ul style="list-style-type: none"> ・授業概要説明 ・お客様の肌や体の状態を知るコンサルティングの方法 		
2~3	コンサルティング&カウンセリング 実践	相モデル実習 (事前カウンセリング→クレンジング→コンサルティング)		
4~5	フェイシャル技術(マスク)	マスク(アルゲタイプ)を行う上での注意点 お客様への声掛け		
6~7	下肢トリートメント(むくみ)	むくみに対するアプローチ オイルの種類、ホームケアアドバイス		
8~9	下肢トリートメント(痩身)	脂肪に対するアプローチ オイルの種類、ホームケアアドバイス		
10~11	フェイシャル技術(パター)	相モデル実習 (クレンジング、ウォッシュ、パター)		
12~13	フェイシャル技術(小顔)	相モデル実習 (クレンジング、ウォッシュ、マッサージ)		
14~15	ハンドトリートメント	オールハンドによるトリートメント 骨格や筋肉の理解(ヘッド、背面)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネイルⅡ		美容学科/2年	2022/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	0単位(16時間)	選択	
授業の概要				
授業終了時の到達目標				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~3	ジェルグラデーションの実習			
4~5	フレンチの実習			
6~8	ジェルアートの実習			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率	10.0%	
		授業態度	30.0%	
		確認テスト	30.0%	
		期末試験	30.0%	